

2023年9月14日開催

相模原市立保育園、私立保育園・認定こども園合同研修(アンケート集計)

・実施期間:令和5年9月14日~9月26日

園長会アンケート結果 回答57園(公立:16園 / 私立:41園)

以下、アンケートの設問4つについて

1、研修内容で自園で取り組みたい内容については、55件の回答がありました。

下記参照(回答文のまま掲載します)

- ・BCPの作成(5件)
- ・BCPの確立、全職員での共有(今回の内容を伝え、マニュアルの見直し、BCPの策定につなげていきたい。
- ・BCPはありますが「提出の為のBCPになっていないか」を考えて、再度見直したいと思いました。
- ・100年前の地図を参考にし、園周辺のことをよく調べたいです。
- ・BCPの中に富士山噴火を想定した内容と、大規模災害の場合は近くの系列園と協力して職員体制を整える必要性を感じたのでその2点を加えたい。安全管理責任の重要性を認識できたので職員間でも共有し、いかなる時も最善の判断ができるよう毎月の避難訓練を見直したい。ストーリーの無い避難訓練を行い実践に役立つ内容にしたい。
- ・毎月の避難訓練がマンネリ化しないように取り組むことのヒントをいただいたので実践していきたい。
- ・防災マニュアルの見直し・災害時マニュアルの見直しと共有 / 整備・防災訓練のやり方・非常食確保の考え方、避難訓練の見直し、職員間の共通理解、保護者への発信、職員全体の意識改革
- ・災害後のタイムラインの見直しと精査
- ・災害を意識した遊びの中での教育
- ・いざという時に、「どのように動けば良いのか」等掲示するなど、誰もが分かりやすく動けるように対応を考えていきたい。
- ・事務所の非常持出しメモを掲示する・近隣の災害連携園と連絡する・ハザードマップや災害時の避難場所の一覧を準備しておき、案内できるようにする
- ・ハザードマップ、防災アセスメントの再確認・近助との連携・園の近隣状況の確認を行う。
- ・フローチャートを職員一人一人のポケットに入れる
- ・避難訓練(予告なし)(4件)
- ・想定外の訓練・避難訓練の複合バージョン・様々な災害に対しての訓練はしておきたいと思いました。
- ・自助力を高めるための研修を行っていきたい。まずは、園内研修でマニュアルを共有していく
- ・既に、抜き打ちや、内容変更しての避難訓練は行なっておりますが、その大切さを再確認しましたので今後も継続していきたいと思いました。
- ・保育士が考えて取り組める機会として、予告なしの避難訓練の回数を増やしたい
- ・災害時に備えて、保育園を継続して運営していくために職員が何人確保できるか等、家族の状況を調査し把握していきたい。
- ・告知しない避難訓練・年間予定に1回計画をしているが、想定外を減らしていくためにも訓練を重ねていく必要があると学んだ
- ・設定のない避難訓練、保護者の防災に対する意識の向上を図る様々な形での情報提供、保育室の環境の見直し、防災マニュアルの掲示と携帯用マニュアルの作成等
- ・非常食の確認・ローリングストック・防災食をローリングストック対応にもしていく。ハザードマップ等その他教えて頂いた資料を確認し、マニュアルや事業継続計画が今の自園に合っているか見直したいと思っています。避難訓練・入園のしおりに富士山噴火を加えます。

- ・話の中で、「最近の遊具は安全すぎる」という言葉通り、全てにおいて守られ過ぎではないかと感じました。子どもを守る立場ではあるが危険も知らせていかななくてはならず遊びの中にそのような体験を取り入れていこうと思う。
- ・保護者への防災情報としての発信・職員の育成とマネジメント
- ・アセスメント調査報告書を読み、自園にあった防災対策を高める。
- ・全職員で備蓄食料、災害用品の保管場所確認や使用法を伝授し試運転を実践する。毎月恒例の避難訓練に加えて、保育園で大きな災害が起きた場合を想定した時の子ども達や保育士の動きをシュミレーションし、マニュアル化していく。大災害が起きた時の過去の性被害などについて職員や保護者にも研修や懇談会、掲示等で知らせていく。
- ・大規模な震災が起きた時に、果たしてどれだけの職員が出勤可能なのか事前に考えておきたい。
- ・園周辺の土地や近隣の建物などを再確認して災害によってどのような被害となるか想定する・臨機応変に対応できるような訓練を心がける。近隣に老人施設があるので、連携をとれる関係づくりなどしていきたい。
- ・室内の環境整備の見直し、訓練内容の見直し、保育の中で遊びながら災害を感じて危機管理能力を身につけていくことを実践。
- ・災害時想定出来る事を、保護者に伝え、共に考える機会を持ちたいとこの研修を受けて思った。特に、富士山噴火、火山灰の事など想定していなかった災害について知ることができ、認識の甘さを実感させられた。子どもを守るために知らなければならないことが多くあり、(性被害に合わないように等も含め)保護者に啓蒙することも必要な事だと改めて考えさせられた。ハザードマップも 100 年前からの歴史も含め見てみることに。重ねるハザードマップを活用して地盤なども含め知ることが大切であると知ることができた。園においては、職員とどうしたら子どもたちに危機管理意識が育つのかも含め考えながら、具体例で話されていたように遊びながら子どもたちに持ち出し袋を扱えるように考えてみたいと思った。

2. 今後、公私立合同で行う研修（勉強会等）の時期について参加可能な、または開催して欲しい時期はいつごろでしょうか。

55 件の回答



少数意見

- 時期は選べないですが合同研修は希望します。
- 園長会の日であればいつでも良い など

3. 講師への質問については 14 件の内容がありました但し詳細は略。

4. 感想・意見等 (44 件)

- ・危機管理に対して考えて行っているつもりでいたが、もっと違う視点からも考え深く行ってい行かなくてはいけないと感じることが出来ました。ありがとうございました
- ・マニュアルの見直しと共に、BCP をしっかりと考え明確にしていく
- ・良い研修でした、ありがとうございました

- ありがとうございました。形だけの訓練にならないこと・遊びの中での伝え方など、日々をどう過ごしていくか考えさせられました。たくさんのヒントを頂きましたので、活かしていきたいです。
- コロナ禍で近隣園との連携などが薄くなっているの、しっかり顔合わせなど行えたらとは思っています。
- 子ども達の命を守るためには、どうするべきなのか、改めて考えさせられました。それと同時に怖くなりました。
- 地震、風災害のことばかり心配していましたが、富士山噴火のことをここで意識できたことが私にとっての大きな収穫でした。防災についてはとても重要視しており、保育の中で、生活の中で、さまざまな想定をして行動しています。噴火については考えたことがなかったので、職員と情報共有しながら想像や対策を考えていきたいと思いました。本当にありがとうございました。
- 最初から最後まで先生の話にくぎ付けでした。衝撃も受けましたがこれから取り組むべきことへの気づきが多くあり、とても素晴らしい研修でした。ありがとうございました。
- 自助で災害を乗り切る為の準備の必要性を感じました。職員と考えていきたいと思う。施設長の責任の重さを増々感じました。以前から 災害は園が開いていない時に起こってほしいと思っていたが、これについても 増々この思いが強くなりました。ただ、「この時は～する」と情報を仕入れながら考えようと思いました
- いつくるか分からない災害ですが、常に準備は進めていきたいと思います。
- 防災については意識をしているつもりでしたが今回の研修を受講してさらにその意識を強く持ちました。避難所における性被害についてはあまり情報がありませんでしたので知ることができてよかったです。
- 日々園内での避難訓練を行なっているが、改めて見直したり、職員の連携について、もう少し詳細に検討していかなければ、ならない事に気付かされた研修となった。
- 防災は自宅から整える、災害時の性犯罪など、今まで気づかなかったことがたくさんあり、大変学びになりました。10年前に大川小学校を訪問しました。もし自分の身に起きたら、仕事をクビになっても裏山に登ろう、そうでないと一生後悔する、と思ったことを思い出しました。命より優先されるものはないと肝に銘じ、精いっぱい防災を準備します。ありがとうございました。
- 研修を通して知らない事が多く、とても勉強になりました。災害＝子どもを守る でしたが、自分自身や家族の安全を確保出来なければ身動きがとれない事。また詳しく報道されないだけで、性犯罪の多さ等、衝撃的な事実がある事。たくさんの事を想定しなければならぬが、災害マニュアルから BCP を手掛けていく中で、目の前に起きた時に全職員が自分の役割を理解し動ける体制にしていけるよう取り組んでいきたいと思います。貴重なお時間をありがとうございました。
- とても危機感もてる話で大変意識づけになりました。早速自宅の備えも改めたいと思います。ただ、講義の中で、講師の方がジャニーズ事務所の名前をだされていました。なぜ事務所の名前を出すのか、(被害者が含まれているのに、あたかも事務所が悪いような印象付け) 公の場で不適切と感じました。
- 災害時に性犯罪が起きると同い、衝撃を受けました。いつ起きるかわからない災害に備え、様々な場面での訓練に力を入れていきたい。
- 災害を身近なものと考えてもっと細かく話しあったり、共通理解が必要だと考える機会になりました。説明もわかりやすくありがとうございました。
- 過去の災害についてはドキュメンタリーや報道で目にしていたが、報道されていないことについてきたことはショックが大きかったです。本当に大事な事はそういうことだと感じ、そのために自分たちができる事を考えていきたいと思いました。また、自然災害は防ぐことはできないが、被害を少しでも少なくするためには自分たちが知識を増やすことや様々な想定する力がなくてはいけないと思いました。実際、冷静にいろことができるだろうか、指示ができるだろうか、と怖くなりました。
- 研修ありがとうございました。災害怖いな！と改めて感じました。実際にどんなことができるのか、やらなくてはいけないのか、きちんと整理し職員との共有をしっかりとしていかななくてはいけないと強く感じました。相模原には連携園というシステムがありますが、実際に活用できるのか・・当園は同じ地域に姉妹園が

あるので、姉妹園との連携も考えていきたいと思いました。

- 研修を受講して、災害は本当にいつ起こるか分からず、どんな状況になるかも予測がつかない事を改めて感じ、日頃の訓練や備えが重要になると感じました。今回の研修の様に、何度聞いても振り返りになり、必要な事だと思いました。ありがとうございました。
- 被災者のお話を聞いて、とても心が痛みました。不安もたくさんありますが、だからこそ園の環境・実態に即した生きたマニュアル作りと訓練をしなければと、強く思いました。そして園長として園を離れることはできないということ、自分の家族にあらためて伝えました。自分が園に残るためにも、家族が避難生活を無事に過ごせるための準備をしっかりとっておきたいと思えます。子ども達の命を守るために、自分の命、家族の命を守るための準備をしておくことを職員にも伝えようと思えます。あらためて自分の防災意識を振り返ると、「もしも」のことだといつ後回しにしていたように思えます。このような研修をしていただき本当に良かったです。ありがとうございました。
- とても不安になりましたが、とても参考になりました。ありがとうございました
- 日々の安全は当たり前ではない。想定外を想定内にするためには、訓練の積み重ねが繋がっている。職員間での危機管理意識を高くもち、万が一に備えていきたいとあらためて思う。貴重な研修をありがとうございました。
- 災害発生時の判断ミスのないよう、防災に関して振り返り考えることが出来ました。沢山のお話を聞かせていただきありがとうございました。
- 具体的にわかりやすく、危機感を持つことが出来ました。
- 初心に戻り職員全員で色々な事を見直していかなければならないと思いました。また、職員の意識としても「指示待ち」ではなく、指揮管理者がいなかったときのことも想定しておくことも必要と感じました。
- 毎月訓練を行い、様々な想定をしていたが、火山灰、性犯罪防止などについてはほとんど考えていなかった。今後もっと視野を広く、また深く防災について考えていかなければならないと感じた。
- 大変有意義な研修内容で、身の引き締まる思いで受講いたしました。ありがとうございました。
- 危機感を強く感じました。一時避難場所と広域避難場所の方向が違うので、判断が重要となることも確認できたので、地域の防災マイスターの方にご指導いただき、とっさの判断が間違えなくできるようにしたいと思えます。貴重な時間をありがとうございました。
- 守るべき命をしっかりと守るために、日々準備をしていく必要性を再確認した。自助をまず考え、やるべき事を実行していきたい。
- 生々しいお話もありましたが、それだけに思うことがたくさんありました。
- 災害時の影での犯罪について衝撃を受けました。そのようなことが繰り返されないよう、そのようなことが起こることを知っているか知らないかは大きい為、発信していきたいと思いました。
- 沢山細かいところまで勉強になりました。職員で共有しながら、そして園長としての的確な判断が出来るよう勉強していきたいと思えます。
- とても考えさせられる内容でした 今後の不安も大きいですが、まずは見直しをきちんとしていきたい
- 訓練をしていて、BCPも立てていますが、お話を伺って正直、衝撃を受けました。命を守れるか不安になりましたが、見直して意識高く訓練をしていく必要を感じました。
- 東日本大震災でのお話をきいて、いろいろな想定を考えること、そして訓練していくことの大切さを改めて強く感じました。とても勉強になりました。ありがとうございました。
- 公立の保育園は異動範囲が広く地域性に特徴があるので、異動の度にそれぞれ、その地域に合った災害時の動きを園長として把握し、支持できるまでマニュアル化する責務があると感じた。当たり前のことではあるものの、どこに何がどれくらい備蓄されているのかを園内職員全員が知っておくべきだと感じた。園長や副園長だけが把握しているだけのことが多いのが実態。異動してすぐに発電機やスミスライトの存在、使い方もわからなかった職員がほとんどだったので、即体験する時間を設けて実施した。今回の研修を受け、異動

して半年たち慣れてきてしまった部分があったので、備蓄の見直しや消費期限などを全職員で行いながら、防災に対する意識をたかめたいと感じた。ありがとうございました。

- 土砂災害警戒区域内にある保育園なので、災害の画像は自分の身に置き換えて見ていた。一つの判断が生死を分けることは自覚していたが、画像で見ると判断の怖さを心から感じた。的確な判断ができるよう、判断材料を多く持出るようにしたい。また地域連携の大切さを意識していたが、より広く保育園を理解してもらえよう、地域に働きかけていきたいと思う。
- 改めて見直す必要を感じました。
- とても学びの多い研修でした。ありがとうございました。
- 9/1 に大規模地震を想定した引き渡し訓練を保護者とともに行いました。様々な状況を想定して内容を考えましたが、保護者も職員もおおむね訓練計画通りの動きはできるものの、まったく緊張感がないものとなってしまいました。訓練に協力していただけないご家庭が毎年数名いるのも事実です。「近い将来大規模地震が起きる」と保護者も職員も意識できるように防災に関する知識を広げ、園として出来る準備をしていき、自助の力を高めていきたいと感じました。貴重なお話ありがとうございました。
- 先日は、貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。災害時のリアルなお話を伺い、知らなかったことがたくさんありました。自分が被告人になるかもしれない、他にも見えない人災が多くあるのだと考えると、マニュアルの見直しやBCPの作成を急がなければならないと感じました。ただ、私一人だけでなく、職員にも同じように意識して取り組めるように周知する必要があります。園内研修を行い、マニュアルに追加していき、保護者へも発信できることは、していきたいと思います。また、備蓄品については、ローリングストックという考え方を踏まえて、購入していきたいと思います。本当にありがとうございました。
- 研修会に参加して本当に子どもの命を守る事の重大性と責任を感じました。
- 災害について、頭で理解しているよりも実際は大変なことであると感じました。想像も出来ていない部分も含めてしっかり考える機会を頂きありがとうございました。
- このような研修を企画していただきありがとうございました。認識不足を実感いたしました。
- 避難所の性的被害のことや、火がついた時に手を振ってはいけないことなど、具体的な話がとても良かったので、是非、現場で役に立つお話を伺いたいです。

*たくさんの質問をいただいておりますが、「職員と一緒に考える」それは、地域性も踏まえてでした。とくに策定者は園長がほとんどで、作ったきりになり満足していないか振り返ることや、訓練は、大切な一つの活動だけれども、決められていないことへの対応ができることは子どもも大人も育つことに繋がるこのことです。

*災害（噴火等）灰が降る体験は、なかなかできないけれども、国内でも体験している地域があるのでネット情報を活用するなど知識として意識することの大切さを教えていただきました。

*全質問へ答えたいところですが、ぜひ今度はグループワークなどしながら、一緒に考えたいと講師の村山先生よりお応えいただきました。

*お忙しい中、研修への参加、アンケートへの回答等、みなさまのご協力に感謝いたします。